

令和元年度 諏訪二葉高校関西支部同総会参加報告

令和元年度 諏訪二葉高校関西支部同総会が6月8日（土）に『大阪第一ホテル』で開催され、守屋校長、岸会長、石澤副会長の3名で参加しました。

数日前までの真夏の陽気から一転、前日の梅雨入りで諏訪は肌寒いような曇天の朝になりました。大阪も曇り空でしたが、雨に濡れる事も無く過ごし易く快適な日となりました。

参加者は16名（校長、本部からの計3名含）で例年規模との事。終始和気藹々とした雰囲気での総会でした。



先ず、岸会長からの関西支部総会開催への祝辞、東京支部や諏訪9地区合同支部の総会の様子、平林たい子記念館の紹介、学校行事（二葉祭、ロビコン）へのお誘い、支部総会開催に当たっての役員さんへの労いと参加された方々のご健勝と支部の発展を祈念の言葉、副会長の石澤の自己紹介、そして校長先生のご挨拶では、教育方針と高校再編のお話、昨年の諏訪二葉高校の進学実績やクラブ活動の状況等が紹介されました。

続いて、支部長の小坂さんからは、総会の出席者を増やすべく今年は本部から入手の名簿で対象者全員（166名）に葉書を送付して出欠を取ったが、思うような成果は難しかった事、物故者（4名）始め健康上の理由から参加できない方の残念報告、そして返信ハガキの整理に協力していただいた皆様への感謝と今後の支部総会参加者拡大への協力依頼がありました。

返信のあった107通が『欠席者からのハガキ』と『今後の連絡不要という方のハガキ』（56通）に分けて、席上回覧されていました。連絡不要の方も『今は健康上や環境の理由で出席できないが、出席できる時期になったら、こちらから連絡したい』と言う内容の伝言が目につきました。尚、今回1名

でしたが男性からも返事があり『今回は欠席だが、予定が合えば出席したい』との内容に、今後の楽しみが増えた気がしました。

校長先生の乾杯のご発声で食事会開始となり、参加の皆様一人ひとりからの近況報告が始まりました。今回初参加の5回生（丁度高女から高校へ変わった年に入学）の方からは、まるで宝塚のような雰囲気だったと当時の二葉の思い出が語られ、大学院の現役聴講生の方を含む4名の7回生の方々、11回生、12回生からお一人ずつ、岡山から参加の方始め3名の16回生の方々、発掘に嵌っていると仰る方始め2名の17回生の方々、まだ現役でお勤めの26回生の方というように、出席の皆様はご高齢でも何らかの分野で活躍されていらっしゃるようです。また、常連の方々は健康上の不安はあるものの、この会に出席して元気を貰うのを毎年楽しみにされていると異口同音に仰っていました。和やかな雰囲気の中、『妖怪と妖精のあいだ-平林たい子伝-』（郡ようこ著）や平林たい子さんと交流のあった『伊藤千代子』の生涯の映画のチラシを岸会長が紹介すると、『藤原てい』や『新田次郎』の映画も話題になり、郷里の話に花が咲きました。

そして箏笛コンサートをお願いしていた平尾ご夫妻も一緒に記念写真に収まると、ご夫妻の演奏が二葉の校歌（勿論大合唱となりました）で始まりました。長野県との浅からぬ縁の話を交えながら、馴染み深い歌謡曲やフォークソングの選曲でしたので、時々合唱しながら楽しい時間を過ごしている内に閉会の時刻となりました。



小坂支部長からの「来年も6月第二の土曜日に、この『大阪第一ホテル』で支部総会を予定しています。」との紹介に、再会を期して散会となりました。

関西にも同窓会があり、世代を超えて語り、解り合える仲間がいる事に感謝です。

石澤 記